

公開延期から2年……
いよいよ全国ロードショー

毎日は何気なく
過ごしていると
足元にある
小さな幸せに
気づかないものだ



Takatsugawa

錦織良成監督作品

高津川

甲本雅裕
戸田菜穂
大野いと
田口浩正
高橋長英
奈良岡朋子

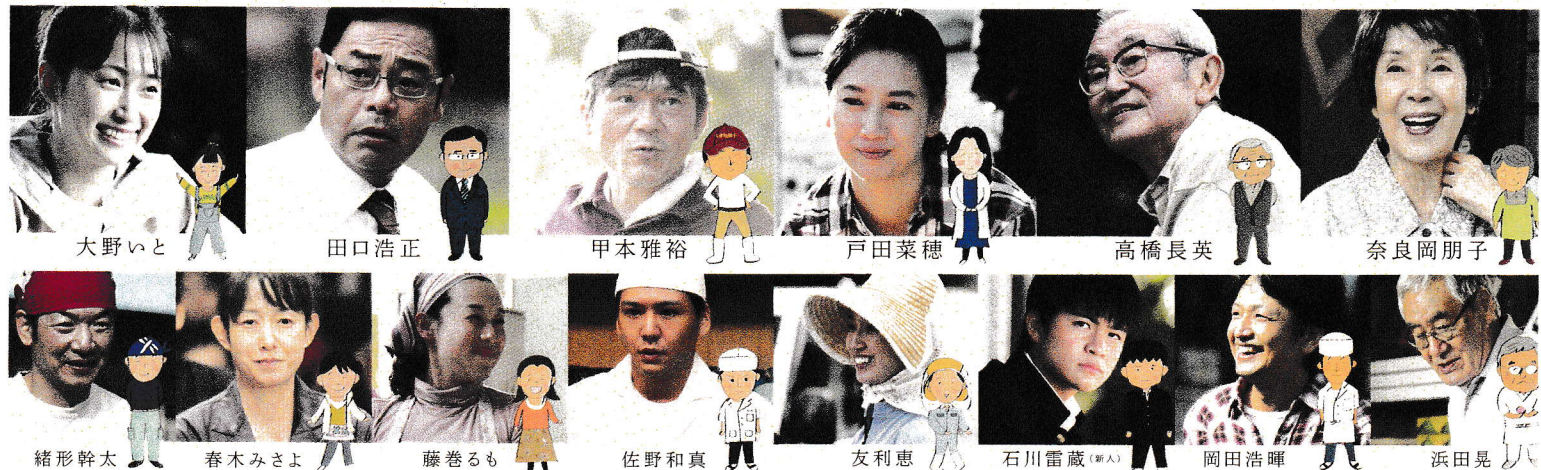
原作・脚本・監督：錦織良成 音楽：瀬川英史

緒形幹太 春木みさよ 藤巻るも 佐野和真 友利恵 石川雷蔵(新人)
岡田浩暉 浜田晃

プロデューサー：安川雅史 撮影：佐光朗 JSC 照明：加瀬弘行 録音：武進 美術美術：吉川康美 編集：日下部元孝 効果：丹藤三
選曲：佐藤啓 衣裳：岡田敦之ヘア&メイク：酒井啓介 特撮：佐藤博人 助監督：宮村敏正 イラスト：坂井治
特別協賛：株式会社ジュンテンドー/日本海テレビジョン放送株式会社
協賛：タクミ商事株式会社/東塚正/有株式会社サンデーズ/さんびるホールディングス株式会社/松栄株式会社/新田支店
松永牧場/益田興産/高橋建設/コカフ計画/キヌヤ 映画「高津川」を応援する会 益田市 津和野町 吉良町 島根県
製作：映画「高津川」製作委員会 制作プロダクション：giggly 配給：GigglyBox

優しい映画ができました。

takatsugawa-movie.jp

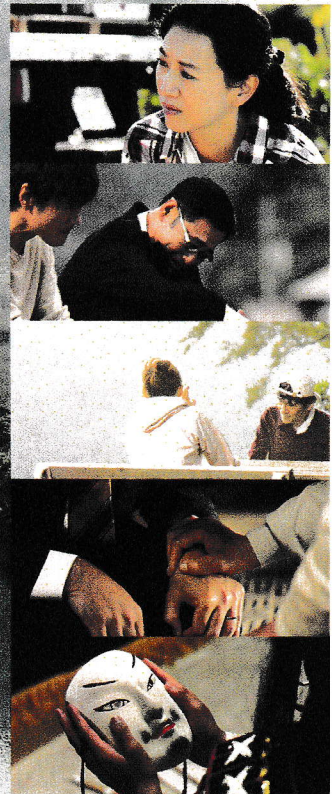


これはきっとあなたの物語



ダムが一つも無い一級河川「高津川」。
下流まで透き通った日本一の清流。
その流域で暮らす人々の日常の葛藤。
それはどこかで起きた特別な話ではなく
誰にでも起こる、どこにでもあるもの。
これは大切なものを守りながら
懸命に生きようとする人々の抒情詩である。

当たり前だからこそ
忘れてはいけけない
大切なことがある。



メッセージが静かに
心に迫ってきます

かつて昭和の時代に作られた日本映画の
ようなイメージの地味なタイトルに製作陣
の想いが込められます。現代においては、随分
《尖った映画》かもしれませぬ。日本の「今
そこにある危機を見て見ぬふりをしている
いいのか」「このままにしておいてはいけな
い」というメッセージが心に沁みこんでくる
のです。劇中、高津川の流域で暮らす人々の
営みが淡々と描かれ、それは、まるでフ
ォンタジーの世界のようです。人々が明日の幸
せを夢みて動き、経済発展を遂げた昭和の
時代には日本中どこにでもあった自然豊か
な風景がスクリーンいっぱい広がり俳優
陣の演技を優しく包みます。日本の《現在の
問題》を描きながらも、涙なしでは観られな
い全世代向けのエンタメ作品です。公開規模
の小さな船出ですが、感動の波は多くの皆様
に届くものと信じます。ぜひ大スクリーンで
ご鑑賞ください。

出演者、スタッフと
清流高津川が奏でる
交響曲

ゆったりとした時間が流れ、スクリーンの中
に溶けてしまうかのような錯覚を覚えるほ
どの優しい映画が誕生しました。日本一の清
流、高津川流域で健気に生きる人々の姿と心
意気が心に沁みこんでいきます。監督は、中村
麻美、濱田岳主演の「白い船」、中井貴一主演
の「RAILWAYS 49歳で電車の運転士に
なった男の物語」、青柳翔主演の「渾身」の錦織
良成、主演は甲本雅裕、ヒロインに戸田菜穂、
田口浩正、高橋長英、奈良岡朋子らのベテラ
ン勢が脇を固め、大野いと、新人の石川雷蔵ら
の若手も爽やかな演技で魅せます。

物語 日本一の清流を舞台に描かれる物語は、感動をたたえて深く心にしみこんでくる

山の上の牧場を経営している齊藤学（甲本雅裕）。歌舞伎の源流とも言われる「神楽の舞い」は地元の誇り。息子竜也が稽古をさぼりがちなことからこの地を離れるのではないかと心配している。そんな時、母校の小学校の閉校を知らされる。学は高津川上流のリゾート開発の話があることを、小学校の同級生である東京の弁護士の大庭誠に相談、地域の発展の起爆剤になるという誠を高津川のほとりに連れていく。誠はそこで学だけが知る秘密を知らされることになる…。心の奥深くしみる物語は後半静かな転調をみせる。静かに胸が熱くなるシーンは必見。



大きな宣伝はありません。ご覧いただいた皆様の口コミが頼りです 《感想抜粋》

- | | | | | |
|-------------------------|--|---------------------------------|-------------------------|-----------------------|
| 泣けて泣けて大変でした
(50代女性) | 幸せな気持ちでいっぱい
(30代女性) | 後半やばい。嗚咽しそうになった
(40代男性) | 日本を誇りに思えた
(40代男性) | 今の時代を表している
(50代女性) |
| 時間があつという間でした
(20代女性) | 嘘くさくない演技、本音のメッセージ
(50代男性) | すごい良かった
(20代女性) | 親元に帰りたいくなった
(20代男性) | 清々しい涙が流れた
(60代女性) |
| 久しぶりに映画で感動した
(70代女性) | 清流のように心洗われる
(60代男性) | 映画でこんな心動かされたのは初めての経験
(40代女性) | 日本人みんなに見て欲しい
(60代女性) | |
| 日本を誇りに思えた
(40代男性) | 鴨長明「方丈記」の冒頭の一節を思い出す
(30代女性) | 演技とは思えないほど役者が皆良かった
(60代女性) | 元気が出た
(20代女性) | |
| 最後まで涙が流れた
(40代女性) | 思わず人生を振り返っていた
(70代女性) | こう来たかと、いい意味で裏切られた
(30代男性) | この映画凄いい
(60代女性) | |
| 感動作
(50代男性) | 風の音、川のせせらぎ、言葉の一言一言が、まるで一編の詩のようだった
(30代女性) | | | |



2022. 3.18(金)～名演小劇場ほか 全国ロードショー takatsugawa-movie.jp

